



おおさかパルコフ

発行/生活協同組合おおさかパルコフ  
大阪市都島区東野田町1-5-26  
TEL: 06(6242)0904  
FAX: 06(6242)0926  
発行責任者/山本邦雄 編集/理事会室

<http://www.palcoop.or.jp>

支援物資を送る取り組みへのご協力ありがとうございました

3月19日

## 808名の組合員さんから 3762点の支援物資が集まりました



配送支所に紙おむつやカイロをお持ちいただきました  
(写真上は都島支所、右は北枚方支所)

組合員活動に関わっておられる委員さん79名とパルコフ職員・委託社員404名がボランティアとして参加。パルコフの11配送支所と8店舗で、808名の組合員さん・一部地域の方から3762点の支援物資を受け取りました。募金もこの日だけで137万3111円が集まりました。

提供いただいた物資は、日本生協連の物流センター・小野DC(兵庫県)にいったん集め、仕分けをして被災地へお届けします。



店頭での物資受付の様子(つるみ店)



枚方物流センターから日本生協連物流センターに送ります



被災地への応援メッセージも受け付けました(平野支所)



駅頭での募金活動も行いました(大東支所)

### 寝屋川支所に参加した職員の感想

「支所まで足を運んで下さった組合員さんの心ある気持ちにとても感動しました。街頭募金では多くの方に募金していただき『頑張ってください』と声をかけていただけたり嬉しかったです。そんなみなさんの好意が被災者の方へ届き、少しでも生きる喜びになってくれることを願います」  
(寝屋川支所・山浦あかね)

26日(土)・27日(日)の報告は、ぱるタイム42号で掲載します

### 被災地にある生協と連絡を取りながら、被災された地域への支援活動を行なっています



25日、野菜・調味料・卵・菓子などの移動販売を安価で行いました



24日、いわて生協の職員と一緒に炊き出し

3月22日、いわて生協への“人の支援”に向けた準備に2名が出発しました。23日は、いわて生協さんの状況をお聞きし、また地域での被災状況と現在の様子(何が必要か)を確認しました。24日は、朝から大槌町の城山体育館(避難所)へ入り、炊き出しの応援を行いました。25日は、コープさっぽろの職員と大船渡市から少し山間に入ったところで移動販売を行い、「買出しに行けなくて困ってたの。来てくれて助かる」と喜んでいただきました。

3月27日から4月9日に人の支援として6グループ(4人ずつ)が順次、4日間の日程でいわて生協に支援に入ります。3月24日に「結団式」を行いました



震災以来、毎日の配送の中で日常業務をしっかりと行うことが自分の今できることと思いながら、組合員さんの「私も何かしたいけど行くことできないし、募金をするわ」「届かへん商品あっても被災地に届いてるんやったら、大阪の私たちは大丈夫、かまへんよ」という被災地を思いやるお声を聞かせてもらっていました。今回、支所からも支援に行けることになり、行って何か役立ちたいと思ってる他のメンバーや、被災地のことを思い心配している組合員さんの気持ちも持って、一緒に活動してる気持ちで参加しようと思います。自分たちにできることは限られているかもしれませんが、謙虚な気持ちで4月2日からの支援をがんばってきます。  
(都島支所配送担当・大森千里)

※27日からのいわて生協への支援は、各配送支所からも支援に行くメンバーがいます。配送時、担当者が代わって伺うこともありますが、ご了解をお願いします。